

先日ホームページに掲載しました公開課題第2版から①～⑫の変更(8頁, 9頁参照)を行いました第3版を掲載します。こちらを最新の事前公開課題としてください。

課題について不明な点がありましたら、下記にお問い合わせ願います。

【お問合せ先】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

大阪支部 高齢・障害者業務課

TEL 06-7664-0782 osaka-kosyo02@jeed.go.jp

第3版

大阪障害者技能競技大会

ネイル施術 事前公表課題

1 競技内容 作品は、課題1～2の2種類とする。

(1) 課題1:『カラーリング』

(右手:ネイルポリッシュ / 左手:ジェルカラーリング) 2種類の素材のカラーリングを行います。カラーリングの基礎であるネイルポリッシュとサロンサービスの主流であるジェルカラーリングで、材料に合わせた技術テクニック、正確な技術力、トータル バランスと仕上がりの美しさで競います。

●片手(モデルの右手5本)カラーリング:ポリッシュ(赤)

●片手(モデルの左手5本)カラーリング:ジェル(赤)

(2) 課題2:『ネイルアート』 テーマ:自然(Nature)

テーマに合わせたネイルデザインをネイルチップに施し、創造力とアート技術を競います。

2 競技時間

【課題1:45分】

・カラーリング:45分 モデルの両手にそれぞれ決められた手に2種類のカラーリング(ポリッシュとジェル)を行う。

【課題2:60分:ネイルチップ5本】

ポリッシュでカラーリングしたネイルチップの上にアクリル絵の具などを使用し、アートを施す。

・ネイルアートを効果的に表現する目的で、アクリル絵の具、ストーン、ホログラム、ラメなど、ネイルの商材であれば使用は可とする。(市販されているネイルシールや既にデザインされた装飾品、パーツ類の使用は不可。)

・ネイルチップの加工は、ベースカラーの塗布も含めて事前に準備しておくこととする。

・ジェルは使用せずポリッシュのトップコートで仕上げを行う。

3 提出方法

課題1:参加者からの申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、モデルへの施術をもって提出とする。

課題2:作品は、チップスタンドに貼り付けた状態で提出とする。

4 禁止事項

- (1) 競技時間中に審査委員以外から指導や助言を受けてはならない。モデルの方も指導や助言をしてはならない。
- (2) 他の選手の妨害をしてはならない。
- (3) 競技時間に遅刻すること及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。必要な場合は審査委員もしくはスタッフに許可を取らなくてはならない。
- (4) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (5) 競技時間中に、付添人が競技エリアへ入場してはならない。

5 注意事項

- (1) 使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し、指示に従うこと。
- (2) 作品が完成し、審査委員に申し出れば競技を終了することができる。但し、その場合は競技会場から退出すること。
- (3) 会場での座席位置は机にゼッケン番号のシールを貼っていますので、そこにお座り下さい。
- (4) メモ、デッサン画、参考書、その他の資料等の持込みは一切不可とする。
(※1)補助具等(書見台等)の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として、参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち会いのもとで導入すること。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行わないこと。
- (5) 技能競技において製作された作品等の所有権は、すべて機構に帰属するものとする作品の写真撮影はOKとする。

6 競技会場に準備してあるもの

- (1) 作業台 W1800×D450×H700 (内高 640)程度
- (2) 選手用電気スタンド クランプ式蛍光灯:100V 40W
- (3) 電源コンセント(各2口) ジェルネイルランプ用・電気スタンド用
- (4) 完成作品保管・展示用長机 W1800×450×700 程度
- (5) 長机用テーブルクロス(白色)
- (6) 椅子(背もたれ付)
- (7) 消毒用エタノール 1本
- (8) ポリッシュリムーバー(予備用)

- (9) ネイルチップシール(両面テープ)当日配布
- (10) チップスタンド(持参品を使用してもよい。※但し、返却は後日となります。)←追加・修正①
- (11) 選手作業テーブル用のごみ袋(A4 サイズ)
- (12) ジェルネイルランプ(予備用)

7 選手が持参するもの

- (1) 手指・器具用消毒液(メーカーや形状は問わない)
- (2) コットン(手指消毒等で使用)
- (3) コットン容器(形状は問わない)
- (4) ウェットステリライザー(消毒用タンブラー等)
- (5) メンダ(容器)(必要に応じて)
- (6) ベースコート(ポリッシュ)(メーカーや形状は問わない)
- (7) トップコート(ポリッシュ)(メーカーや形状は問わない)
- (8) ポリッシュカラー(マット赤)(メーカーや形状は問わない)
- (9) ベースジェル(ジェル)(メーカーや形状は問わない)
- (10) トップジェル(ジェル)(メーカーや形状は問わない)
- (11) カラージェル(マット赤)(メーカーや形状は問わない)
- (12) ジェル用筆(アート・ジェルカラー塗布などで使用)
- (13) ジェルネイル用ランプ(メーカーは問わない)
- (14) ワイプ類・ペーパー類(使用するジェルのタイプに応じ用意)
- (15) スパチュラ(カラージェル攪拌用)(必要に応じて使用)
- (16) ウッドスティック
- (17) トレーケース(用具を入れるため)
- (18) ブラシ立て
- (19) ペーパータオル
- (20) アームレスト
- (21) 作業エリア用タオル(白無地タオル)
- (22) ネイルチップ(アート競技で使用)
- (23) ネイルアートの道具(各自ネイルアートで使用する道具・材料一式)

- ※ 上記に記載のないもので、施術に必要と思われる物(但し、競技に著しく有利になるとと思われる道具の使用を認めない場合があります。)があればご準備下さい。←追加・修正②
- ※ 持参した道具・材料の一式については、直接、会場にお持ちください。←追加・修正③
- ※ 当日の受付後に、第2課題で使用するネイルアート用チップの確認及び、ネイルアートの競技方法および提出方法などの説明を致します。←追加・修正④

「選手が準備・持参するもの」

◎【重要】課題1で施術するモデルは各自で手配をお願いします。

◎課題1で使用する道具は、普段使用しているものを各自持参して下さい。

※ ネイルポリッシュ、ジェルネイル施術で使用する道具や材料は、各自ご用意下さい。

※ カラーリングでは、ネイルポリッシュによるカラーリング(マット赤)とジェルのベース・トップ及びそれらの施術に必要な材料と道具を各自持参してください。

※ 選手にご用意いただく道具・材料や機器などのメーカー等は問いません。

カラーリングのモデルの爪の状態について

・モデルの爪や皮膚に疾患や炎症などがなく、ネイルケアやカラーリングができる爪と皮膚の状態であること。

・ネイル製品などが何もついていない、ナチュラルネイルの状態とする。

・何も塗布していない状態から始める。(ネイルグルー・リペアを除く)

・爪の長さは、エッジが塗れる長さがあり、できる限り10本のバランスが取れている爪の状態とする。

・競技当日、爪の長さを形が整えられており、甘皮の手入れがされている状態、爪の表面が磨かれている(左手は適切なサンディングがされている)状態。(事前のケアが不十分と判断した場合には、減点の対象となります。また、事前のケアは必ず選手自身が行うこと。)

※ サンディング不要のジェルを使用した場合でも、競技上のルールとして、モデルの爪に必要な最低限のつや消し(サンディング)を行う。

※ 当日(競技開始前)に、モデルに追加のネイルケアを施す場合は、ケアに必要な道具を必要に応じて持参してください。←追加・修正⑤

【モデルの爪にリペアや長さだしの処理が必要な場合】

・亀裂等の処理(リペア)や長さだしが必要な場合、全部で3本までとする。

・亀裂などの処理にネイルグルーを使用する場合、本数に制限はない。

・リペアや長さだしで使用する製品はジェル、アクリル、シルクラップであればいずれも可。(ネイルチップでの長さだしは不可とし、使用した場合には減点対象となります)

8 テーブルセッティングに関して

※ 競技開始前までに、全ての準備を終了すること。

・競技開始後に、作業で使用する道具、材料をカバンから取り出した場合は減点とする。)←追加・修正⑥

※ ジェルネイルランプの電源を競技前に確認すること。(ジェルネイルランプの不具合がないかの確認、使用ジェルの硬化時間などは各自で管理してください。万が一、ジェルネイルランプの不具合で競技に支障が出た場合でも、配慮は致しません)。

- ※ 使用する器具、材料はトレーの中にセッティングし作業中も衛生的に管理すること。
- ・ウエットステリライザーを必ずセッティング(ウッドスティック、ピンセット)すること。
- ・使用する道具、材料は衛生的(消毒済みのもの)なものを使用すること。
- ・ジェルネイルランプのセッティング場所は作業テーブル内であれば自由、各自で管理をすること。

課題1(カラーリング)

●競技時間 45分

- 競技内容 カラーリングは、ネイルポリッシュ(マット赤)とジェルカラーを使用する。
- ・モデルの右手:ネイルポリッシュ(マット赤) / モデルの左手:ジェルカラー(マット赤) ・施術の順序は問わないが、それぞれの製品の特徴をふまえた施術を行うこと。
- ・カラーはいずれも2度塗りとする。
- ・先端(エッジ)も塗布する。

【競技手順】

- ① 消毒液を含ませたコットンを用いて施術者の手指、次にモデルの手指を消毒する。
 - ・施術者、モデルそれぞれに別のコットンを使用する。
 - ・手の甲、手の平、指間までしっかり行う。
- ② 爪の表面、フリーエッジの裏の油分、水分の除去をする。
 - ・カラーリングの施術内容に応じた製品を使用し、爪のクリーンを行なうこと。
- ③ ベースを爪の表面とエッジ(爪の先端)に塗布する。
- ④ 1度目のカラーを爪の表面とエッジ(爪の先端)に塗布する。 ←追加・修正⑦
- ⑤ 2度目のカラーを塗布する。
- ⑥ トップを爪の表面とエッジに塗布する。
- ⑦ ジェルネイルは未硬化ジェルのベタつきがない状態にする。
 - ・ジェルネイル施術において、カラーリング終了後にネイルファイル類を使用することは不可とする。(ネイルファイルを使用し爪やジェルを整えた場合には減点とする。)
 - ・仕上り後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。
 - ・未硬化ジェルが出ないタイプのジェル製品を使用した場合には、ふき取りを行わなくても良い。ただし、ベタつきがないこと。

●チェックポイント

- ① 衛生的に施術を行っている。
- ② 器具、材料は必要なものが準備され、常に整理整頓された状態であり、安全に正しく使用している。
- ③ エッジの塗り残しがないこと。
- ④ 先端の厚みが均一であること。

- ⑤ 爪裏に製品が流れていないこと。
- ⑥ キューティクルラインが空き過ぎず、滑らかであること。
- ⑦ キューティクルライン際、爪先端、爪のサイドに製品の溜まりがないこと。
- ⑧ サイドの塗り残しがないこと。
- ⑨ 表面やサイドに色むらや刷毛あと、ダスト、凹凸、液だまりなどが無いこと。
- ⑩ 素材に合った均一なツヤがあること。
- ⑪ 皮膚にカラーやジェル製品がついていないこと。
- ⑫ 時間内にトップコート・トップジェルまで塗布できている。
- ⑬ ジェルカラーリングは未硬化ジェルがない状態で終了する。
- ⑭ カラーリング終了後、ネイルファイルを使用しないこと。
- ⑮ 左右で使用する素材に違いはあるが、10本の仕上がりがほぼ同じような仕上がりになっていること。

●注意事項

- ① 競技開始時にモデルの事前審査を行う為、事前審査中にモデルの手や爪に触らないこと。
- ② モデルに出血が生じた場合は放置せず、近くにいる競技委員の指示に従うこと。手指を消毒してから施術を再開すること。出血の状況によっては、競技を継続出来ない可能性もありますので道具の取り扱いに注意してください。
- ③ 器具、材料を落とした場合は放置せず、**審査員の承諾を得た上で**、拾い・破棄する。破棄できないものは器具用の消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。**←追加・修正⑧**
- ④ 時間内にすべての作業が終了されていない場合は減点となる。
- ⑤ 審査中、モデルの爪や手に触れないこと。
- ⑥ ジェルネイルはカラーリング(トップジェル硬化後)終了後、はみ出したジェル等をネイルファイルで削らないこと。(ネイルファイルで削り整えた場合には、減点となります。)

課題2(ネイルアート)

ネイルアートの基本的なテクニックを用いて、テーマにあった作品をネイルチップに施す。

テーマ：自然(Nature)

ネイルチップ:5本

●競技時間 60 分

●競技内容 ネイルチップ(5本)にアートを施す。(アートチップのサイズは11ページを参考にしてください。)

【競技手順】

- ① デザインチップをチップスタンドに装着し準備する。
- ② カラー塗布済みのチップにテーマに合ったデザインを施す。

- ③ ツヤを出して終了とする。(トップコートを使用する、ジェルは不可。)
- *アートに使用する材料は、特にメーカーは問わないが、アクリル絵の具によるペイントアートを基本とし、ラメ・ホロ等を使用することもできる。
- ・ネイルアートで使用するチップは、**当日まで**に各自チップを選びとサイズ合わせを行い、ポリッシュによるカラーリングを済ませてきていただきます。←追加・修正⑨
- ※ 見本(メモ、デッサン画、事前に作成したチップ等)を見ながらの作業はカンニング行為とみなします。
- ※ 競技終了後、自身が用意したチップスタンド**又は競技会場に準備してあるチップスタンド**にチップを装着した状態で作品の提出とします。但し、自身が用意したチップスタンドで提出した場合、チップスタンドの返却は後日になります。←追加・修正⑩
- ※ 競技方法や作品の提出方法などは、**競技当日**にお伝え致します。←追加・修正⑪

●チェックポイント

- ① テーマに合ったデザインか。
- ② 時間内に終了しているか。
- ③ 独創的なオリジナル作品か。
- ④ 全体のアートのバランスは適切であるか。
- ⑤ デザインテクニックに優れているか(色彩バランスと配置やペイントなどのテクニック)。
- ⑥ 繊細な仕上がりか。
- ⑦ トップコートのコーティングで仕上げる(ツヤあり・ツヤなしいずれも可)。
- ⑧ ネイルアートに必要な材料や道具の管理と使用方法を理解し衛生的に作業がされている。

●注意事項

- ① 衛生的に作業を行うこと。
- ② 使用するチップの加工(長さ形を整えるなど)は、事前準備として行い、競技中の加工は不可とする。
- ③ チップのファイリングスタイルは自由。
- ④ ベースカラーは、ポリッシュを使用し、ワンカラーとする。手指ごとに違う色にすることは可能。ワンカラーとは、根本から爪全体を塗ること、爪表面全体が**一色であり透明**の部分がない状態をワンカラーと言います。←追加・修正⑫
- ⑤ 課題のテーマに沿ってアートを施す。
- ⑥ ネイルアートの装飾品は効果的に使用することは可(ラメ・ホロ・ラインストーン・スタッズ などのネイルアート用の素材)。
- ⑦ 市販されているネイルシールや既にデザインされた装飾パーツ類の使用は不可。
- ⑧ 著作権など他者の権利を侵害していない作品とする(オリジナル作品とする)。
- ⑨ 5本全体でテーマを表現するものとする。

《参考》

「ネイルチップは一番長い指で2cm 程度とし、五本のバランスが取れていること。」

《公開課題 第2版から第3版の変更箇所》

第3版では、第2版から、青文字部分を削除し、赤文字部分を追加・修正しています。

※ その他、細かい修正(重複文字(内容)及びスペースの削除等)を行っています。

No	頁	修正後	修正前
①	3	(10)チップスタンド(持参品を使用してもよい。※但し、返却は後日となります。)	(10)チップスタンド(予備用)ご自身の持参したものを使用してもよい。
②	3	※ 上記に記載のないもので、施術に必要と思われる物(但し、競技に著しく有利になるとと思われる道具の使用を認めない場合があります。)があればご準備下さい。	※ 上記に記載のないもので、施術に必要と思われる物)があればご準備下さい。 ※ 競技にふさわしくない著しく有利になるとと思われる道具の使用を認めない場合があります。
③	3	※ 持参した道具・材料の一式については、直接、会場にお持ちください。	※ 持参した道具・材料の一式については、競技で使用する道具・材料の一式を会場にお持ちください。
④	3	※ 当日の受付後に、第2課題で使用するネイルアート用チップの確認及び、ネイルアートの競技方法および提出方法などの説明を致します。	※ 前日のオリエンテーションの時に、第二課題で使用するネイルアート用チップの確認及び、ネイルアートの競技方法および提出方法などの説明を致します。
⑤	4	※ 当日(競技開始前)に、モデルに追加のネイルケアを施す場合は、ケアに必要な道具を必要に応じて持参してください。	
⑥	4	・競技開始後に、作業で使用する道具、材料をカバンから取り出した場合は減点とする。)	・競技開始前に、作業で使用する道具、材料をカバンから取り出した場合は減点とする。)
⑦	5	④ 1度目のカラーを爪の表面とエッジ(爪の先端)に塗布する。	④ 1度目のカラーを塗布する。
⑧	6	③ 器具、材料を落とした場合は放置	③ 器具、材料を落とした場合は放置

		せず、 審査員の承諾を得た上で 、拾い・破棄する。破棄できないものは器具用の消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。	せず、拾い、破棄する。破棄できないものは器具用の消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。
⑨	7	・ネイルアートで使用するチップは、 当日まで に各自チップを選びとサイズ合わせを行い、ポリッシュによるカラーリングを済ませてきていただきます。	・ネイルアートで使用するチップは、 オリエンテーションまで に各自チップを選びとサイズ合わせを行い、ポリッシュによるカラーリングを済ませてきていただきます。
⑩	7	※ 競技終了後、自身が用意したチップスタンド 又は競技会場に準備してあるチップスタンド にチップを装着した状態で作品の提出とします。 但し、自身が用意したチップスタンドで提出した場合、チップスタンドの返却は後日になります。	※ 競技終了後、自身が用意したチップスタンドにチップを装着した状態で作品の提出とします。
⑪	7	※ 競技方法や作品の提出方法などは、 競技当日 にお伝え致します。	※ 競技方法や作品の提出方法などは、 競技前日(オリエンテーション) の時に お伝え致します。
⑫	7	⑩ ベースカラーは、ポリッシュを使用し、ワンカラーとする。手指ごとに違う色にすることは可能。ワンカラーとは、根本から爪全体を塗ること、爪表面全体が 一色であり透明 の部分がない状態をワンカラーと言います。	⑩ ベースカラーは、ポリッシュを使用し、ワンカラーとする。手指ごとに違う色にすることは可能。ワンカラーとは、根本から爪全体を塗ること、爪表面全体が一色 ほぼ透明 の部分がない状態をワンカラーと言います。